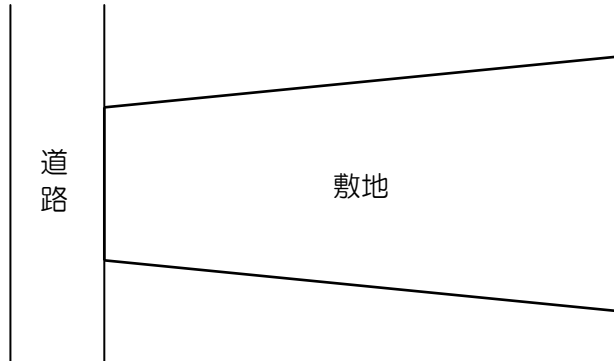


5-2

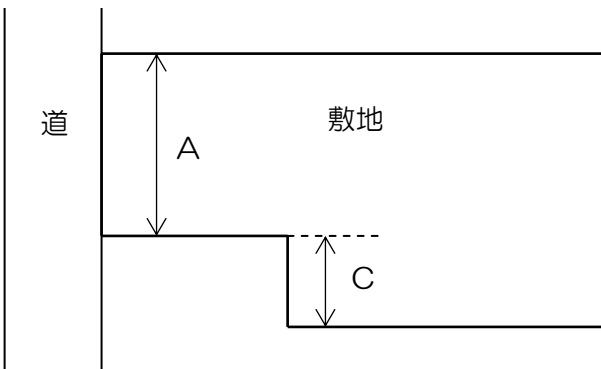
路地状敷地の形状について

以下の条件に該当する敷地については、東京都建築安全条例第10条において路地状敷地として扱わない。

1 台形等の敷地で路地状の部分がない場合

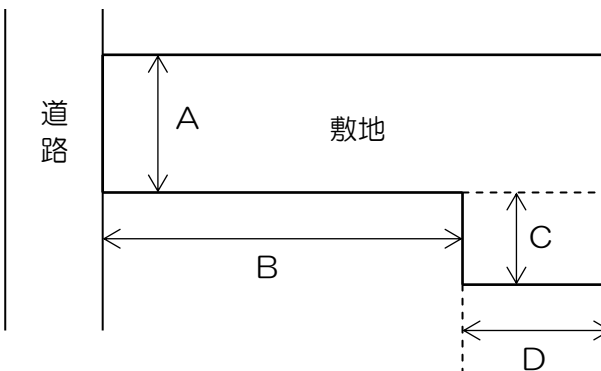


2 路地状部分の幅員が奥の部分と比べて十分に広い場合



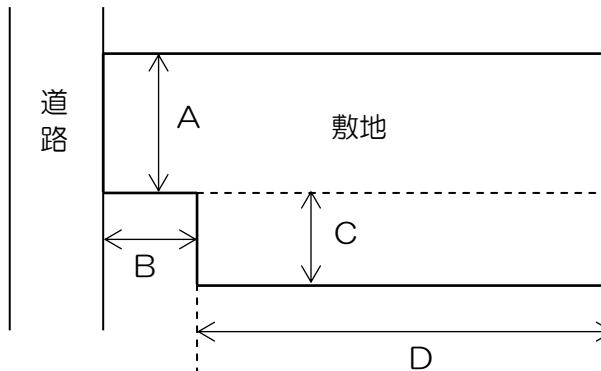
$$C \leq A / 2$$

3 路地状部分が奥の敷地の部分と比べて大きい場合



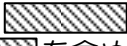

$$A \geq D \quad \text{かつ} \quad B \geq C$$

4 路地状部分の幅が広く、長さが短い場合

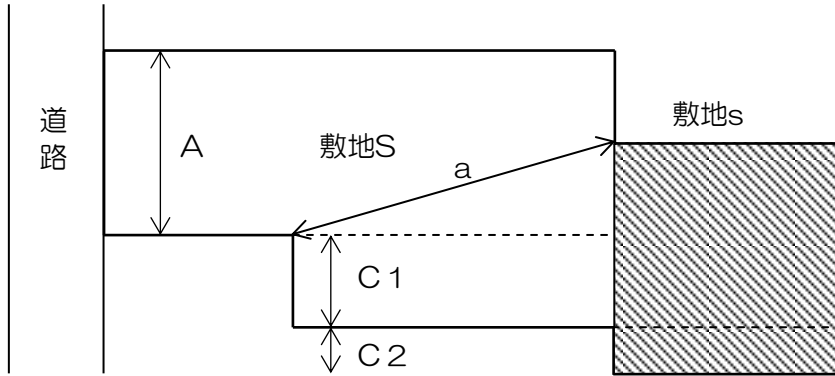


$$A \geq C \quad \text{かつ} \quad B \leq D$$

上記②～④の基本パターンの敷地形態に合わない場合の考え方

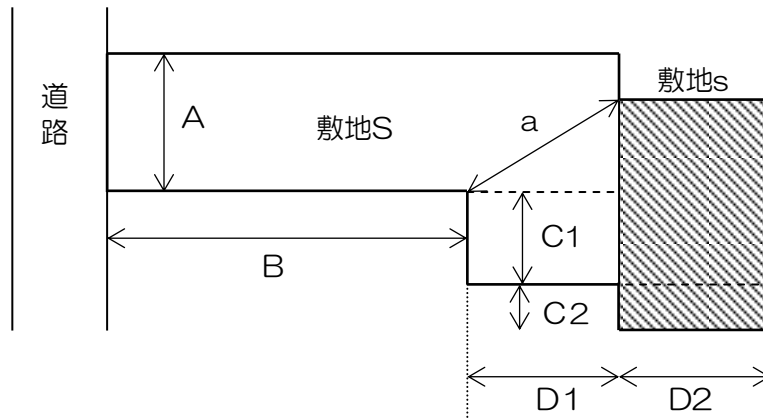
前提として、を除いた部分（基本パターン）でまず検討し、次に、を含め、以下の条件（②'～④'）で検討する。その結果、②'～④'の条件に該当する敷地については、東京都建築安全条例第10条において路地状敷地として扱わない。

②'



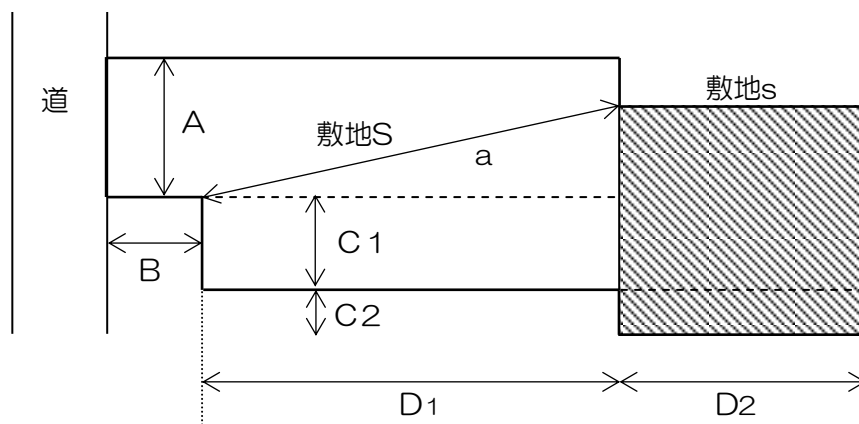
条件
②'
 $A/2 \leq a$
 $a \geq 4\text{m}$
 $S \geq s$

③'



③'
 $a \geq 4\text{m}$
 $A/2 \leq a$
(C1+C2)をC
(D1+D2)をD
と各々みなし、
 $A \geq D$ かつ $B \geq C$
を再度検討

④'



④'
 $a \geq 4\text{m}$
 $A/2 \leq a$
(C1+C2)をC
(D1+D2)をD
と各々みなし、
 $A \geq C$ かつ $B \leq D$
を再度検討

関連条文	東京都建築安全条例第3条、第3条の2、第10条
参考	